

【鶴岡地域】地域の魅力資源活用事業 「第三学区未来創造事業」

【事業年度：R5】

取組みの背景や経緯

人口減少や少子高齢化等により、地域が抱える課題は増加し、ますます深刻化している。地域の活力が減退している中、住民が地域の魅力を共有し発信していくことで地域活性化を目指すこと、また、幅広い世代がまちづくり活動を企画実施する機会を創出することで人材の確保に繋げることが必要となっている。まずは、第三学区の良さを共有し、世代間の距離感を縮める話し合いを実施することから開始した。

事業概要

令和4年3月に第1回未来創造ミーティングを実施。以降、毎年テーマを変えながら実施するたびに参加者が拡大。現役世代、高校生や大学生など幅広い層が参加している。その中から“高校生の居場所”としての「すたでいBox」、三小運動会における「ドローン撮影会」、第三学区の魅力を発見するための「スマホ・フォトイベント」などを実施。現在ではミーティングで意見・アイデア交換から発案された「幅広い世代が参加できる」イベントの企画・実施を目指している。既存の組織や仕組みを時代にあった形へ変更を検討。“地域づくりに関心を持つ人が気軽に参加できるコミュニティ”を目指して活動を継続中である。

事業効果と今後の展望

■事業効果

未来創造ミーティングを複数回行ったことで、①幅広い世代が集うことで、様々な視点から様々なアイデアや意見が相互に交わされるようになった。②第三学区の魅力について多くの方が改めて関心を持つようになった。③年齢層を超えて協力して成果を出してみたいという気運が生じた。

■今後の展望

既存組織の見直しや「幅広い世代が参加、参画できる」ための仕組みづくりを今まで以上に進めることで、地域の人材の発掘、地域の魅力の共有化と発信が行われると考える。



<未来創造ミーティング>



<スマホ・フォトイベント>